

第3回教師みらいセミナーが開催されました！

第3回教師みらいセミナー

9月28日（土） 9:30~12:00 @宮崎南高校

◎内容

「モチベーションや学習法について考えてみよう」

・宮崎大学教育学部 准教授 尾之上高哉（教育臨床心理講座）

◎参加者数

会場参加 49名 オンライン参加35名 計84名



学校生活において、授業は多くの時間を占めます。そして、授業の中での出来事は子どもたちにとって大事な経験となります。今回のセミナーでは、授業に注目して、どうすれば子どもたちが興味を持って取り組んでくれるか、学習内容の理解が深まるかについて考えました。

まず尾之上先生がこれまでの研究でわかっていることを説明されました。

- ・その領域の既有知識が多いほど、
 - ①まだ知らないことへの興味が高まる
 - ②新しく学ぶことの理解が促進する
- ・授業に興味を持って取り組んだり、理解をより深めるには、日々学ぶ内容の定着（必要な時に思い出せる、使えるようにする）＝既有知識を増やすこと が大事



そこで、「教師として、定着を図るために何ができるか？」をグループで話し合いました。これまでの経験から得られた既有知識をグループで出し合うことで知識を増やし、理解を深める取組です。授業の内容を自分の言葉でまとめ直す、単語はイメージで覚える（イメージを作る）、授業前に小テスト実施、反復学習、お互いに話し合う、成功体験させるなど、各グループからいろんなアイデアが出されました。



そして、尾之上先生から定着を図る上で有効と考えられている4つの観点について説明がありました。

1. **Retrieval practice**: 頭の中に情報を詰め込むのではなく、頭の中から情報を引き出すことで、学習は促進する。
2. **Spaced practice**: 学習の機会を一度に集中させるのではなく、分散させることで、学習は促進する。
3. **Interleaved practice**: 同じトピックを続けて練習するより、関連トピックを混ぜて交互に練習するほうが、学習は促進する。
4. **Metacognition**: 自分の理解の状態を正確に把握する機会を頻繁に設けることで、学習は促進する。



特に、**Retrieval practice** について、どうすれば“見ながらする”を“思い出す、確認する”に代えられるか、授業中の工夫や掲示物や宿題の工夫など具体的に説明されました。**Spaced practice** や **Interleaved practice** も情報を取り出す（思い出す）ことにつながり、教師がこれらの方法を、目的を持って、意図的に、頻繁に、使う方法を考えることが、子どもたちの日々学ぶ内容の定着に効果があるということを実感できたセミナーとなりました。

受講者の感想より

- 先生になる上で授業をすることが一番多く、大変な仕事だと思うので、今回の講義でより生徒にとって有意義な授業をするために大切なことを学ぶことができました。私は高校の教師を目指しているので、自分の教えている科目をより好きになってもらえて、楽しいと思える授業をするため、今回学んだことを活かそうと思います。
- このセミナーを受けるかどうか迷っていたけど今回参加してみて本当に良かったと思いました。自分が教師になる上でここどうすればいいだろう？や具体的に何をしたらいいのか？などの自分の中の小さな疑問が解決出来てとてもためになりました。ありがとうございました。
- 今まで模試の過去問や一問一答のプリント等で演習をするときに、分からないところは思い出そうともせず教科書や資料を見ていたけど、学習したことをその都度定着させるために何も見ずにやってみるから実践しようと思いました。自分自身にも将来にも参考になるセミナーでした。ありがとうございました。